

インセンティブが視線運動に与える影響の研究

宇都伸之
早稲田大学

要旨

実験経済学においてインセンティブ付けは、最も重要な手法の一つである。被験者が実験で獲得した利得に応じて金銭報酬(インセンティブ)を、その被験者に支払うことをインセンティブ付けという。近年、アイトラッカーを用いた経済実験が多く行われているが、インセンティブが視線運動に与える影響を検証した研究は存在しない。本研究は、インセンティブ付き条件と仮想的インセンティブ条件の2条件でくじの選択実験を行った。被験者の視線運動とともに、被験者の選択、意思決定時間も2条件間の比較を行った。その結果、インセンティブは被験者の選択、視線運動に影響を与えないことが明らかになった。一方で、インセンティブを付与することで、意思決定時間は有意に長くなることが明らかとなった。